

令和7年度第1回みんなでまちづくり推進会議 議事概要

日時：令和7年3月26日（水）19:00～

場所：境港市保健相談センター 講堂

出席 松本幸永（会長）、三原真由美（副会長）、足立勲、松田真二、宮本剛志、
安原真弓、吉田明広、（7名・敬称略）

欠席 池淵匠、遠藤緑、河岡雅、舩岡彩子、丸山誉覚（5名・敬称略）

事務局 小川博史（総合政策課長）、立花順平（同課政策企画係長）、足立麻優子（同係主事）

1 境港市民活動推進補助金審査

（1）境港ベニガニ有志の会 「水産の実働部隊の作戦いろいろ」

申請団体によるプレゼンテーションの後、審査し、欠席委員の事前書類審査も含め、採択と決定した。

（2）境港親と子どもの劇場 「鑑賞例会「給食番長」

継続事業のため、プレゼンテーションは省略。事前質問に対する申請団体からの回答をもとに審査し、欠席委員の事前書類審査も含め、採択と決定した。

（3）境港おさかなロード大漁祭実行委員会 「第9回みなとオアシス境港大漁祭」

継続事業のため、プレゼンテーションは省略。事前質問に対する申請団体からの回答をもとに審査し、欠席委員の事前書類審査も含め、採択と決定した。

2 第9期取組テーマについて

（1）「令和7年度市民活動推進補助金募集要項の改正について」【資料7】

- ・改正の概要について、事務局から説明。現在の特定非営利活動促進法の別表（第2条関係）では、20種類の活動分野を定めており、このうち、「観光の振興を図る活動」を市民活動推進補助金の目的に追加する。⇒異議なく承認。

（2）地域団体に対する補助金等の制度について【資料6】

- ・前回（2/12）の会議で、市民活動推進補助金以外の市や県が実施する補助金制度の情報提供について要望があったため、県のミラ・クル・とっとり運動推進補助金などを共有。

（3）意見交換

- ・補助金そのものをもっと周知した方が良い。より多くの人に使ってもらうためには、こういうことをやっているという周知が必要だと思う。（委員）
- ・全て採択となるような補助金はどうなのか。委員によって、点数に大きな差がある。平均を出すのに、満点（30点）や14点などを入れても良いかをもっと時間をかけて協議したい。（委員）
- ・前回の会議で話が出た成果報告会ありきではなくても良いと思う。運営するのも大変なので、周知をメインに進めていくのはどうか。（委員）
- ・報告会を開催したら、本当に人がたくさん来て周知ができるのか不安がある。（委員）
- ・やり方が分からない人や迷っている人が、経験者から話を聞ける良い機会だと思う。（委員）
- ・まだ告知もしていないので、次回の申請が出てきた団体に参加の意向を聞いてみるのはどうか。（委員）
- ・今から過去の申請団体に案内すると、そんな条件（報告会に参加すること）はなかったのになという事にならないか。（会長）
- ・継続して活用している団体に打診してみるのはどうか。（委員）

- ・報告会に参加すれば勉強になるし、同じような気持ちを持った人が仲間になるかもしれない。(会長)
- ・例えば、今日審査した3団体の講演を聞いて、補助金申請の参考になるのか。もう少しハードルの低い身近なところの方が良いと思う。(委員)
- ・考え方は、①令和7年度中に声をかけてやってみる、②今年度に準備して来年度に実施の2通りだと思う。(会長)
- ・何のために報告会をするのかが決まっていない状態でやるのはどうなのか。(委員)
- ・報告会は、今期の取り組みテーマのメインではなく、サブのイメージだった。1つの手段として、提案するのはどうか。(委員)
- ・やってみたい団体がもしあれば、やってもらうのが良いと思う。(委員)
- ・もう少し、どういう目的で開催するかなどについては検討が必要だと思う。メイン補助金の見直しで、そこに付随する形で報告会をやるのが良いのかどうなのかを考えていくのはどうか。協議を深めていきながら、出た意見を集約していき、見直しや報告会のやり方(する場合は)などをまとめていく方向でどうか。(事務局)
- ・ひとまず、希望者がいるかどうかを聞いてみても良いんじゃないか。報告会を開催したら発表してみたいかどうかを、過去2年くらいの団体に聞いてみてから、話し合ったら良いと思う。(委員)

3 その他

- ・過去2年間に市民活動推進補助金を活用した団体に、報告会を開催する場合の参加意向を確認し、結果を次回の会議で報告する。
- ・会長より意見：話す時はマスクをはずすか、マイクを使ってほしい。